桜花賞16着惨敗のクラウンロゼから

今回の桜花賞馬の最大の焦点は、馬より騎手。桜花賞馬アユサンが、主戦の丸山元気騎手に手綱が戻ること。そして、そのアユサンを桜花賞で勝利に導いたクリスチャン・デムーロ騎手が、なんと2着のレッドオーヴァルに乗ることだ。

もし、デムーロ騎手が勝ち、アユサンが負ければ、丸山騎手のショックははかりしれない。アユサンは、東京コースで新馬戦を勝ち、アルテミスＳも２着しているので、コース実績に不安はない。また、近年の桜花賞馬はオークスでも実績を残している。そんなわけで、おそらくアユサン1番人気になるだろうが、そうなれば、丸山騎手のプレッシャーは頂点に達する。

2年前の夏、函館競馬に行ったとき、ファンと騎手の集いで、丸山騎手、丹内騎手、古川騎手の若手3騎手と記念写真を撮らせてもらった。そのとき、丸山騎手と固く握手した。その思い出があるから、アユサンには勝ってもらいたい。

ただ、そんなことと、私の馬券の買い方は関連しない。関連させてもいいが、それではポリシーに反する。で、今回はなにを買うかというと、クラウンロゼ（6枠11番）だ。ここから、桜花賞出走馬8頭とフローラSの勝馬デニムアンドルビーの計9頭に馬連で流す。

厚目は、トーセンソレイユ（8枠18番）、ローブティサージュ（5枠9番）の2頭。

なぜ、こんな買い方をするかというと、クラウンロゼは桜花賞出走組のうち、もっとも着順が悪い16着だからだ。厚目の2頭も、それぞれ7着、5着と着順が悪い。

つまり、桜花賞の着順の悪い順に買うわけだ。こんな買い方は、ほぼ誰もしないと思うので、今回はこの方法を採用してみた。桜花賞惨敗の二桁着順馬がオークスを勝つ。そんなことが過去にあったかどうか？ 残念ながら、知らない。

丸山、丹内の3騎手との記念写真（函館競馬場 年6月）
第74回オークス（3歳牝 G1 芝2400m 賞金9700万円）

1-01 レッドオーヴァル　　　　（牝3、C.ﾃﾞﾑｰﾛ ・安田隆行）
1-02 ブリュネット.　　　　　　（牝3、和田竜二・千田輝彦）
2-03 メイショウマンボ.　　　　（牝3、武幸四郎・飯田明弘）
2-04 アユサン.　　　　　　　　（牝3、丸山元気・手塚貴久）
3-05 デニムアンドルビー.　　　（牝3、内田博幸・角居勝彦）
3-06 サクラプレジール.　　 .（牝3、横山典弘・尾関知人）
4-07 ティアーモ　　　　　　　（牝3、藤岡佑介・藤岡健一）
4-08 ブリリアントアスク　　　（牝3、武士沢友治・伊藤正徳）
5-09 ローブティサージュ .　　（牝3、岩田康誠・須貝尚介）
5-10 リラコサージュ.　　　　　（牝3、柴田善臣・藤原英昭）
6-11 クラウンロゼ.　　　　　　（牝3、三浦皇成・天間昭一）
6-12 フロアクラフト　　　　　（牝3、松山弘平・西園正都）
7-13 エバーブロッサム　　　　（牝3、戸崎圭太・堀宣行）
7-14 プリンセスジャック　　　（牝3、福永祐一・加用正）
7-15 セレブリティモデル.　　 （牝3、田中勝春・牧田和弥）
8-16 クロフネサプライズ.　 .（牝3、武　　豊　 ・田所秀孝）
8-17 スイートサルサ　　　　　（牝3、蛯名正義・菊川正達）
8-18 トーセンソレイユ .　　　（牝3、C.ｳｨﾘｱﾑｽﾞ ・池江泰寿）